



# 御林方奉行所と水野代官所

この水野では、平安時代より在地支配を行った土豪である水野氏が存在し、江戸時代になってからも尾張藩に「水野御案内者」として召し抱えられます。そして、狩場や水野御殿（藩主の別荘）の管理の他に藩林地（御林）の管理も行っていました。享保元（1716）年に御林方奉行職に任せられ、元文5（1740）年には水野御殿敷地に御林方奉行所が置かれたと考えられています。また、水野代官所は天明元（1781）年に設置され、初代代官には当時の御林方奉行、水野正恭が就きました。水野代官所の支配村は愛知郡25ヶ村、春日井郡81ヶ村、美濃国可児郡5ヶ村の計111ヶ村で、支配下の村への触れの伝達や、百姓からの願い・訴えの受理といった民生全般を行っていました。現在は水野小学校校門前に碑が建てられています。



## 1000年以上の歴史を誇る せとものまち 陶都・瀬戸

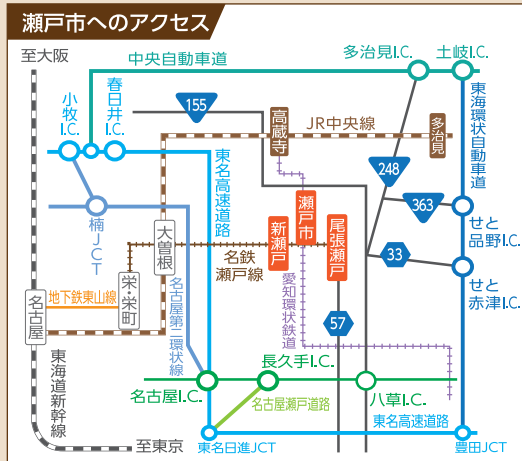
愛知県瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100~300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちです。

良質で豊富な陶土に恵まれ、瀬戸市で焼かれるやきものは、「せともの」というやきもの代名詞として日本のみならず、世界の人々に知られるようになりました。先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

先人たちより引き継がれてきた「歴史」「伝統」「文化」、そして豊かな「自然」が、今もなお、瀬戸の暮らしに息づいています。

電車でお越しになる場合		お車でお越しになる場合	
名古屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋市営地下鉄東山線 乗換5分 → 名鉄瀬戸線 31分(急行) → 尾張瀬戸</li> <li>JR中央本線 乗換7分 → 名鉄瀬戸線 25分(急行) → 尾張瀬戸</li> </ul>	● 東海環状自動車道 せと赤津I.C.から(約10分)	● 東海環状自動車道 せと品野I.C.から(約15分)
		● 名古屋瀬戸道路 長久手I.C. (東名高速道路日進JCT経由)から(約15分)	

高蔵寺、岡崎方面からは愛知環状鉄道利用、瀬戸市駅下車、名鉄瀬戸線に乗り換えです。



問い合わせ先  
瀬戸市文化課  
TEL:0561-84-1093 FAX:0561-85-0415  
〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町113-3 (瀬戸市文化センター内)

このガイドマップは、歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業(文化芸術振興費補助金)を受けて作成しています。



日本遺産のまち瀬戸市  
瀬戸を知る  
テーマ別ガイド⑥

# 殿様街道を巡るコース

